

# 経営強化計画の履行状況報告書 (ダイジェスト版)

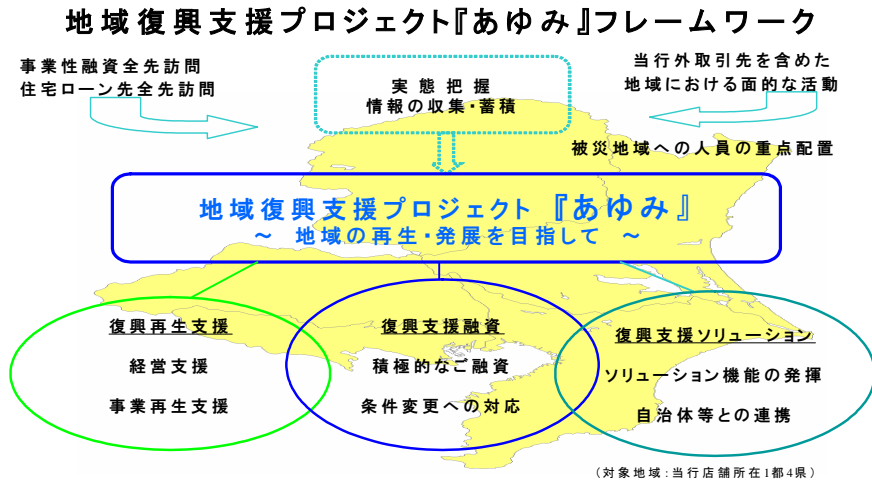
---

平成23年12月

# 目 次

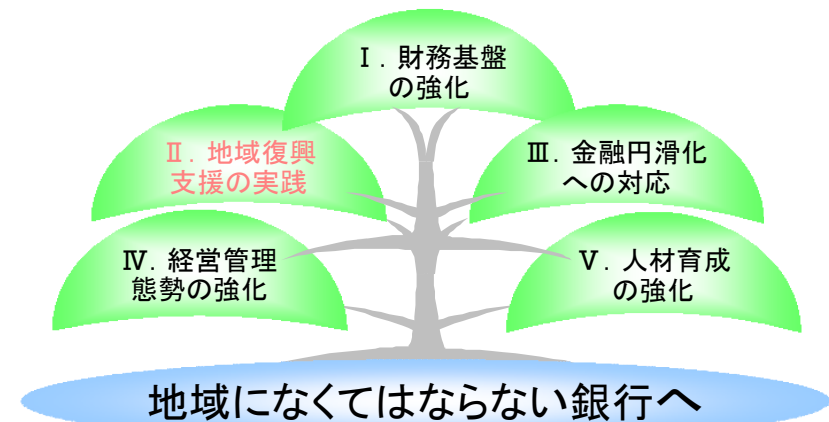
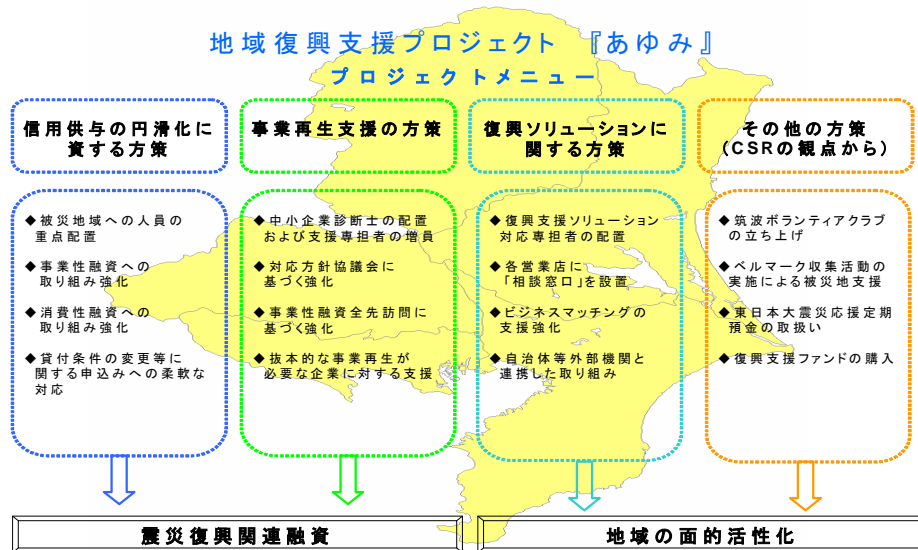
1. 地域復興支援プロジェクト『あゆみ』について ……2
2. 地域復興支援プロジェクト『あゆみ』の実施体制の整備 ……3
3. 信用供与の円滑化に資する方策の進捗状況 ……4
4. 事業再生支援の方策の進捗状況 ……6
5. 復興ソリューションに関する方策の進捗状況 ……7
6. その他の方策（CSRの観点から）の進捗状況 ……9

# 1. 地域復興支援プロジェクト『あゆみ』について



大震災により地域経済から個人の生活まで全てのものが止まってしまい、むしろ後退したものさえありました。震災からの復興に向けての動きは既に始まっていますが、当行としても地域と共に全力で震災復興支援に取り組んでまいります。そうした動きの中で、地域全体がさらに力強く震災復興の歩みを進めていくことを願って『あゆみ』と命名しました。

- 「震災復興委員会」(委員長: 営業本部長)にて復興支援に関する諸施策を検討、実践
- 中期経営計画「MAKE HISTORY 2013」の基本戦略の柱の一つに「地域復興支援の実践」を平成23年9月に加え取り組む



## 2. 地域復興支援プロジェクト『あゆみ』の実施体制の整備

### ➤ 人員の重点配置

- 平成23年8月以降復興支援策実現に向け17名増員
- 営業本部内に「『あゆみ』プロジェクト担当部長」を配置(平成23年12月)・・・スピード感を持って復興支援策に取り組む体制を強化
- 被災の激しい地域(太平洋沿岸部の市町村)に専担者の重点配置
- 県や市町村との連携・協調を深めるため、公務部門へ執行役員を増員し、体制強化

### ➤ 本部組織の見直し

- 営業本部の再編  
(平成23年4月1日)
- 融資本部の再編  
(平成23年10月1日)
- 復興支援策への組織的な取り組みを強化

【復興支援策実現のための戦略的な重点配置】

重点配置先	23.7.31 現在の配置状況	平成23年8月以後の再配置案	23.12.31現在の配置状況
復興需要(信用供与)対応のための法人開拓専担者	8名	8名	13名 (+5名)
住宅ローン専担者	—	3名	3名 (+3名)
復興支援ソリューション対応専担者	—	2名	2名 (+2名)
事業再生、企業支援のための専担者	1名	3名	8名 (+7名)
合計	9名	16名	26名 (+17名)

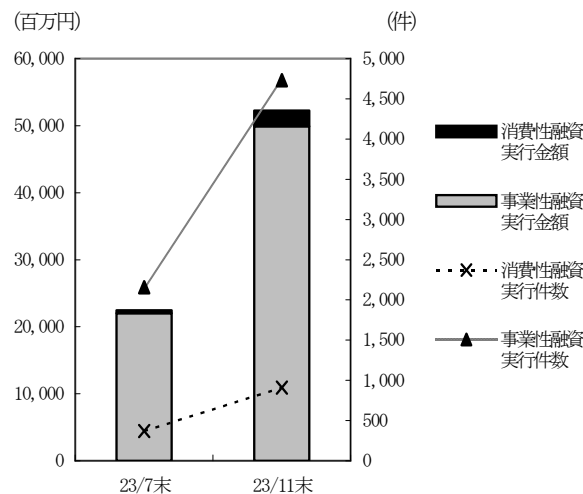
( )内は平成23年8月以降に配置(増員)した人員

### 3. 信用供与の円滑化に資する方策の進捗状況(1)

#### ➤ 震災関連融資の実行金額

【東日本大震災関連融資実行実績】

	平成23年7月末 実行累計実績	平成23年11月末 実行累計実績
事業性融資	2,158件 22,014百万円	4,733件 49,891百万円
消費性融資	371件 429百万円	910件 2,355百万円
合計	2,529件 22,443百万円	5,643件 52,247百万円



#### ➤ 事業性融資への取り組み強化

- 茨城県信用保証協会との  
協調融資
- 日本政策金融公庫との連携融資
- 『あゆみ』関連事業性融資制度の  
ラインナップの整備

【事業者向けローン (新設)】

商品名	内 容	23.10.1~11.30 累計実績
復興支援ローン	あらゆる資金に利用できる事業性ローン	666件 7,449百万円
雇用支援ローン	被災者の雇用に伴う資金に利用できる事業性ローン	9件 85百万円
ECO ローン	エコ関連の設備資金に利用できる事業性ローン	5件 19百万円
協調復興ローン	茨城県信用保証協会との協調融資制度	23件 323百万円
連携復興ローン	日本政策金融公庫との連携融資制度	7件 381百万円

\* 「連携復興ローン」は平成23年11月15日より取り扱い開始

# 信用供与の円滑化に資する方策の進捗状況(2)

## ➤ 消費性(個人向け)融資への取り組み

【茨城県の住宅被害状況】

平成 23 年 12 月 2 日現在

全壊先	半壊先	一部損壊先
3,208 先	23,376 先	164,037 先

(出所：茨城県 HP)

【当行の住宅ローン利用先の被災状況】

平成 23 年 5 月末日現在

全壊先	半壊先	一部損壊先
55 先	214 先	2,228 先

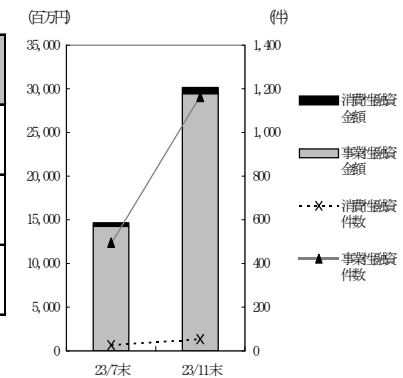
- 住宅ローン利用者に対する取り組み(当行取引先への対応)  
継続的な全先訪問の実施により、リフォーム等の資金ニーズをフォロー
- 面的復興支援に対する取り組み(当行取引先以外も含めた対応)
- 被災の激しい地区を中心にチラシのポスティングを行い、休日相談会を定期的に実施
- 「無担保住宅ローン」の新設等、審査基準等の見直し
- 消費性資金対応商品のラインナップ拡充

## ➤ 条件変更への柔軟な対応

- お客さまとの接点を多く持つことに注力し中長期的な観点から提案、アドバイスを行う

【東日本大震災関連融資条件変更実績】

	平成23年7月末 実行実績	平成23年11月末 実行実績
事業性融資	46件 14,243百万円	1,162件 29,445百万円
消費性融資	26件 409百万円	54件 696百万円
合計	52件 14,652百万円	1,216件 30,141百万円



## 4. 事業再生支援の方策の進捗状況

- 対応方針協議会に基づく強化
  - 対象先の拡大、被災先の追加
- 事業性融資全先訪問に基づく強化
  - 定期的なモニタリング
  - 経営改善計画書作成システムの活用
- 資本金借入金等を活用した支援
  - 「企業再建支援事例集」等を策定し、行員教育にも注力
- 茨城県産業復興支援機構等の活用
  - 「東日本大震災事業者再生支援機構」との相互連携を検討
- 個人債務者の私的整理ガイドラインの活用
  - 当行住宅ローン利用先(全壊・半壊先)269先に私的整理ガイドラインのチラシを持参して制度内容の説明実施

## 5. 復興ソリューションに関する方策の進捗状況(1)

### ➤ ビジネスマッチングの取り組み

- 「2011 ビジネス交流会 in つくば」開催  
共催:茨城県中小企業振興公社 後援:茨城県  
メインテーマ:農畜水産業支援目的の「食」と地場の「ものづくり」
- 包括業務提携先であるあおぞら銀行と連携した広域ビジネスマッチング

### ➤ BCP(事業継続計画)策定ワークショップ

- 地域の中小企業のニーズの高まりに対応

### ➤ 農畜水産業分野への支援強化

### ➤ BtoCマッチング業務の推進

- Business to Consumer<消費者>/Customer<顧客>
- 全営業店に「あゆみ相談窓口」を設置～所謂よろず相談を受ける体制を整備

## 復興ソリューションに関する方策の進捗状況(2)

- 県や市町村等と連携した地域活性化への取り組み
  - 地域経済の面的な復興・発展に資する
  - 地域ニーズの把握と支援諸施策の提案
- 茨城県の観光PRへの関与
  - 震災による直接被害と風評による間接被害によるダメージ大
  - 全国の地方銀行のネットワークを活用した観光PR
  - 北茨城市、北茨城観光協会に対し大手旅行会社と連携して復興支援のためのパンフレット等の作成を提案～今後他市町村にも拡大
- 茨城県産品の安全性PRと販売支援
  - 当行の各種キャンペーンにおいて茨城県産品を積極的に採用

## 6. その他の方策（CSRの観点から）の進捗状況

### ➤ 筑波ボランティアクラブの活動

- 東日本大震災を機に「筑波ボランティアクラブ」の立ち上げ
- 福祉活動、スポーツ交流、環境問題、イベント協力、国際協力、資金協力の6つのカテゴリーでの活動
- 平成23年8月から毎月1回、各回有志40名による被災地ボランティアを継続的に実施
- 森林保全活動を開始～「筑波銀行あゆみの森」（つくば市）

### ➤ ベルマーク収集活動の実施

- 大手損害保険会社と共同でベルマーク収集活動を実施
- 全店に収集BOXを設置し、茨城県内の被災指定校に寄贈予定

### ➤ 東日本大震災復興応援定期預金の取り扱い

- 本定期預金の預入額に対し、一定金額を義援金として拠出
- 平成23年11月に茨城県に対し500万円を寄贈